

日本版BIMライブラリの構築

試験用BIMライブラリサイトを本年7月から試行開始

- ・一般向け: サンプル画面提供による試行(BLCJサイト <https://blcj.or.jp/>)
- ・内部での試行: 専門家グループによる試行



標準ver.2.0は

- ・ライブラリサイト利用
- ・アドオンソフト利用
- ・組み込まれたBIMソフトウェア利用(将来)

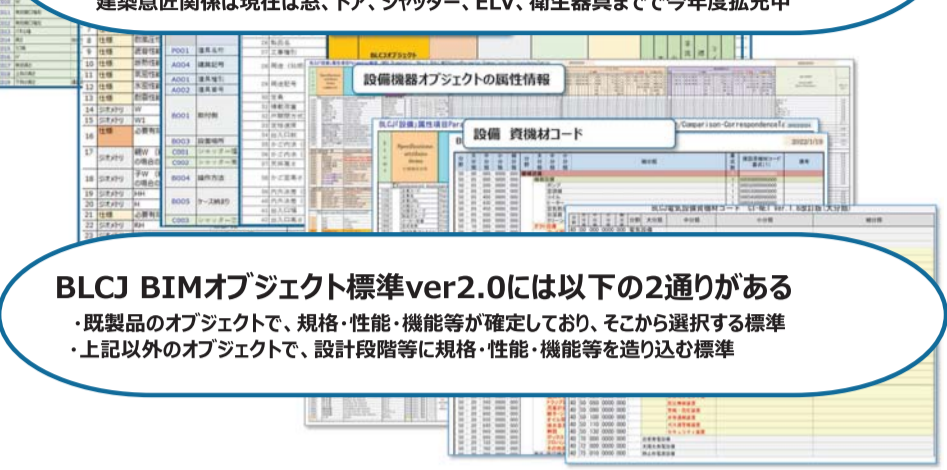
の方法により

- ・設計
- ・各種シミュレーション
- ・建築確認
- ・積算
- ・施工
- ・維持管理・運用

を関係者と共通な情報を用いて、円滑に効率的に行うことを目指します

BLCJ BIMオブジェクト標準ver.2.0を本年6月から段階的に公表

- ・標準ver.2.0は、標準ver.1.0(グローバルに対応した構成)+国内技術への対応を充実
- ・建築確認、標準仕様書、国内外分類コードCI-NET・Uniclass2015対応予定
- ・標準化の範囲: 1000m程度以下の事務所・庁舎等の建築・設備の構成部材
- ・建築意匠関係は現在は窓、ドア、シャッター、ELV、衛生器具までで今年度拡充中



BLCJ BIMオブジェクト標準ver.2.0には以下の2通りがある

- ・既製品のオブジェクトで、規格・性能・機能等が確定しており、そこから選択する標準
- ・上記以外のオブジェクトで、設計段階等に規格・性能・機能等を盛り込む標準

BIMライブラリ技術研究組合(BLCJ、奥田修一理事長)は2023年度、BIMライブラリサイトの試行運用を開始する。昨年度に建築確認や仕様書情報と連携して開発を進めてきたBIMオブジェクト標準ver.2.0の社会実装を推進する。さらに、今年度から新たにタスクグループを設置し、建築確認に必要なオブジェクト標準や申請に必要な各種ツールの開発を加速させる。建築実務で活用できるライブラリの開発に向け、総力を結集して取り組むBLCJの昨年度の検討成果と今年度の活動方針を紹介する。



奥田 修一
BIMライブラリ技術研究組合(BLCJ)が2019年8月に設立されて、今年度で研究活動の5年度目に入りますが、この間わが国のBIMを取り巻く動きは大きく進展しています。国土交通省の建築BIM推進会議において

オブリジェクト標準の社会実装を推進

は建築関係の多い団体の参画のもと幅広い検討が進められ、多様なモデル事業の実施と検証によって、より具体的な課題と解決の方向性が示されています。今年度は、BIM活用事業が創設され、BIM活用事業の拡大によるBIMのさらなる活用推進が期待されています。BLCJといたしまして昨年度は建築確認との連携、仕様書情報との連携を視野に入れたBIMオブジェクト標準ver.2.0の開発を進め、今年度はオブジェクト標準の社会実装に向けて試験用ライブラリサイトの試行運用に取り組み(と)ています。建築確認におけるBIMの活用に向けての動きが本格化する中で、建築実務で活用できるツールの開発に向けて今後ともBLCJの総力を結集して取り組む所存です。共同研究パートナー国立研究開発法人建築研究所をはじめ関係者の皆さまの指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

BIMによる建築確認実施へ課題を改善



R4補正タスクグループリーダー 高橋 亮平
(工学院大学教授)

2022年度の第2次補正により、「建築BIMによる設計環境の構築方法等に関する調査」が採択され、来春までに実施します。ここで取り組むことは大きくは次の2点です。短期間での活動ですが、写真にあるBIM実務の第一線で活躍するメンバーの協力を得て、実務ベースでの確実な成果を出します。

①BIMを用いた建築確認に向け、建築確認に係るオブジェクト標準に関し、BIMを用いた建築確認の将来展望を踏まえ、想定される課題を検討し、ロードマップを整理する。

具体的にはBIMを用いた建築確認はいくつかの段階が考えられますが、設計者がどの範囲をどのようにモデル化するか、デジタル表示されるが故に確認申請の変更対象にならない対応は何か、特記仕様書などのBIMに含まれない情報の取り扱いなど、実務者の抱える課題を検討する予定です。

②BIMを用いた建築確認の試行に向けて、必要となるオブジェクト標準と設計者などの申請者側に必要な各種ツールについて開発を実施する。その



R4補正タスクグループの主要メンバー

日本設計 吉原和正氏 久米設計 古川智之氏 山下設計 家原憲太郎氏 工学院大学 岩村雅人教授 日建設 吉田哲氏 日本設計 西本良樹氏 日本設計 本間智美氏 持設計 松沢亮氏

オブジェクト、ファミリー、テンプレート作成と、検証目的で利用するサンプル建物などを作成する計画です。またBIMソフトウェアも、Revit、Archicadだけでなく、Gloobe、Vectorworksも対象としています。

BIMライブラリサイトの試行運用を開始

専門家、一般ユーザーの意見を聴取

今年度は技術研究組合BIMデータ活用Iの成果として、実務に活用していただくための6月、7月の2回、専門家と一般ユーザーの意見聴取会を開催します。BIM活用事業の拡大によるBIMのさらなる活用推進が期待されています。BLCJといたしまして昨年度は建築確認との連携、仕様書情報との連携を視野に入れたBIMオブジェクト標準ver.2.0の開発を進め、今年度はオブジェクト標準の社会実装に向けて試験用ライブラリサイトの試行運用に取り組み(と)ています。建築確認におけるBIMの活用に向けての動きが本格化する中で、建築実務で活用できるツールの開発に向けて今後ともBLCJの総力を結集して取り組む所存です。共同研究パートナー国立研究開発法人建築研究所をはじめ関係者の皆さまの指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

属性項目の利用に着目し議論展開

BLCJ BIMオブジェクト標準ver.2.0には、属性項目と呼ばれる項目があります。属性項目とは、オブジェクト固有の属性を定義するための項目で、設計段階で属性項目を設定することで、オブジェクトの属性を定義し、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。属性項目は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。属性項目は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。

設備部会

設備部会では、「BLCJ」の標準化を推進し、設備機器の標準化を図ります。設備機器の標準化は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。属性項目は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。

設備オブジェクト標準を整備

設備オブジェクト標準を整備し、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。属性項目は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。

運用部会

運用部会では、BIMライブラリサイトの試行運用を進めます。運用部会の活動は、BIMライブラリサイトの試行運用を進めます。運用部会の活動は、BIMライブラリサイトの試行運用を進めます。

建具表、仕上表、機器表の検討推進

建具表、仕上表、機器表の検討を進めます。建具表、仕上表、機器表の検討は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。属性項目は、設計・施工・維持管理などの作業を行う際に、属性項目に基づいて設計・施工・維持管理などの作業を行います。

連携部会

連携部会では、BIMライブラリサイトの試行運用を進めます。連携部会の活動は、BIMライブラリサイトの試行運用を進めます。連携部会の活動は、BIMライブラリサイトの試行運用を進めます。

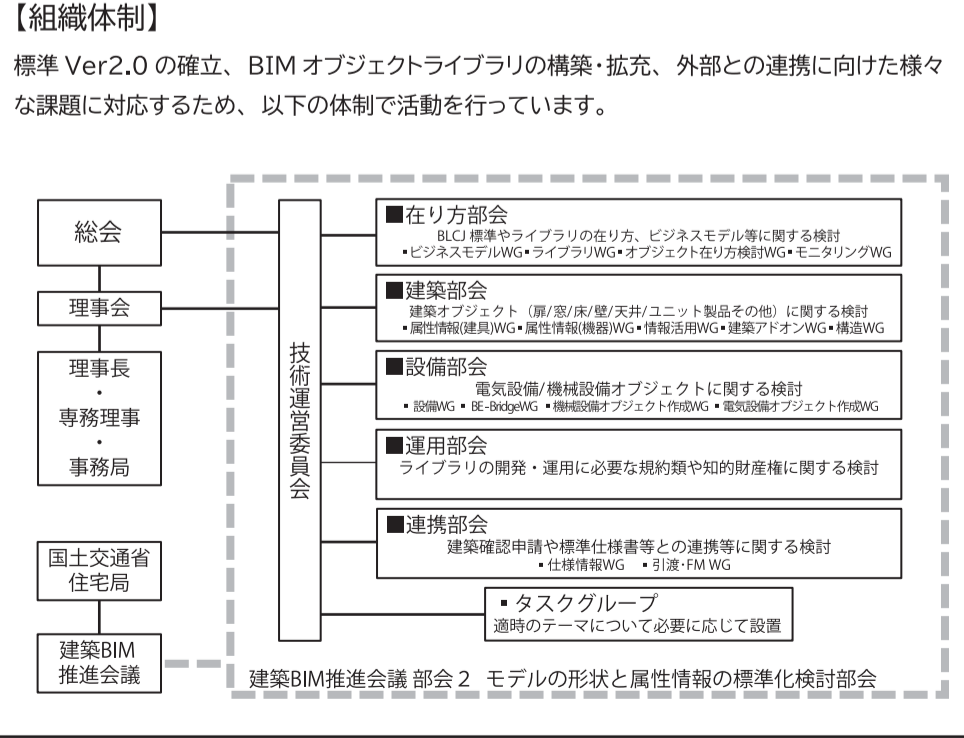
BLCJ

Building information modeling Library Collaborative research association of Japan

BIMライブラリ技術研究組合

〒104-0033 東京都中央区新川1-24-8
TEL:(03)3553-6688 FAX:(03)3553-6767
e-mail: info@blcj.or.jp URL: https://blcj.or.jp/

2019年の設立から5年度目を迎え、幅広く活動を行っています。組合員は随時募集中です。上記連絡先にお問い合わせ下さい。



- 【組合員(2023年4月現在・五十音順・個人組合員除く)】**
- 企業 アイテック(株)/朝日工業社(株)/梓設計/アズビル(株)/アットキヤド(株)/安藤・間/株石本建築事務所(株)/イニスシステム設計/エアアンドイー(株)/株NYKシステムズ/株FMシステム/応用技術(株)/株大塚商会/オートデスク(株)/株大林組/株奥村組/株島建設/河村電産(株)/株関電工/株キッツ/株キャディアン/キャデナス・ウェブ・ツー・キヤド(株)/株きんてん/株熊谷組/株久米設計/グラフィック(株)/株建築ビボット/株構造計画研究所/株佐藤総合計画/有組CI-PES研究会/清水建設(株)/株新菱冷熱工業(株)/ダイキン工業(株)/株大建設/株大日建設計/株高砂熱学工業(株)/株中工務店/株中電工/デュアル・アイ・ティー(株)/株東急建設/株東芝キャリア(株)/株東電設計/TOTO(株)/株東洋熱工業(株)/株イーエネット/戸田建設(株)/株凸版印刷(株)/株日建設計/株日積サーベイ/株日本設計/株日本メックス(株)/株日本郵政(株)/株ノリト/株野原ホールディングス(株)/株パナソニックホールディングス(株)/株日立グローバルライフソリューションズ(株)/株ファーストスキル/株福井コンピュータアーキテクト(株)/株フロンティア/株フローワークス合同会社/株プロパティデータバンク(株)/株ペイテック/株ホーチキ(株)/株丸紅アーキテクト(株)/株三谷産業(株)/株三菱電機(株)/株安井建築設計事務所/株山下設計/株ヤマトプロテック(株)/株吉村建築事務所/株四電工/株LIXIL/YKK AP(株)
 - 団体 (一財)建設業振興基金/NPO建設技術支援協会/(一社)建築設備技術者協会/(一財)建築保全センター/(一社)全国建設協会/(地法)日本下水道事業団/(一社)日本建設業連合会/(公社)日本建築家協会/日本建築上材工業会/(公社)日本建築士会連合会/(一社)日本建築士事務所協会連合会/(公社)日本建築積算協会/(一社)日本建築積算事務所協会/(一社)日本サツ協/株(一社)日本電設工業協会/(一社)日本リノベーション・マネジメント協会/(一社)buildingSMART Japan/(公社)ロングライフビル推進協会 (以上93団体)